

平成 26 年度 津山市立中道中学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 (課題に対する改善方法)	進捗状況 (学期末時点)	3 学期及び来年度へ向けて (具体的な達成目標や数値目標等)
	ミニ学習の充実...本校の課題が解決できるように内容を工夫し、既習事項の反復練習に力点を置く。 ミニ学習コンテスト(漢字・計算)を実施する。	B	1 学期(7 月 9 日)に漢字, 2 学期(11 月 5 日)に計算の全校一斉ミニ学習コンテストを行い、学習意欲を高める工夫を行った。 ミニ学習コンテストの問題の中に、本校で課題のあった全国学力学習状況調査の類似問題を入れ、定着を図った。
	放課後補充学習の実施(到達度テスト等も活用)	C	3 年生では 2 学期後半から希望者による放課後補充学習が実施できた。 1, 2 年生では、課題が見られる生徒に対して、補充学習を行う。 補充学習をさらに充実した取り組みにする。(指導体制の確立) 放課後補充学習で、到達度確認テストの活用(実施率 80%以上)
	基礎的基本的な知識・技能の定着...定期的に小テストを実施し、生徒のつまづきをきめ細かく把握し、個に応じた支援を行う。	C	2 年数学では、たしかめテストの問題を小テストとして毎時間活用し、基礎基本の定着を図っている。 ほとんどの教科で定期的(毎時間, 単元ごと)に小テストを行い(平均実施率 54.2%), その結果をもとに、個別に声かけや補充学習を行っている。 授業の振り返りは各教科で工夫して行い(平均実施率 51.6%), 学習の定着度を確認している。 小テストの実施(60%以上) 授業の振り返りの実施(60%以上)
	授業改善の推進 ・授業研究会を中心に据えた校内研修の実施などで「言語活動」を取り入れた授業改善を図る。 ・「岡山型学習スタンダード」の積極的活用を図る。	B	公開授業研究会を 1 学期(6 月 12 日)と 2 学期(10 月 2 日)の 2 回 5 教科ずつ実施し、校外(異校種)の先生方も交えて「学習意欲の向上」や「言語活動」などについて協議ができた。 「岡山型学習スタンダード」について教員間で共通理解をした。全教室の黒板に「目標」の掲示物を作成した。 授業アンケートを 4 月と 10 月に実施した。「各教科の勉強が好き」と答えた生徒は、10 月 57.3%で、「授業の内容がよくわかる」と答えた生徒は、10 月 65.1%であった。 上の授業アンケートの項目をそれぞれ 70%以上にする。(2 月アンケート)

	<p>家庭学習の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きの改良...家庭学習(復習)の方法・内容を自分自身で振り返る機会を増やしたり、家庭に呼びかけたりする。 ・自主学習への取り組み(宿題の内容の見直し)...望ましい自主学習内容等を指導したり、好事例を紹介するなどして、取り組みを活性化する。 	C	<p>平成27年度に向けて、家庭学習の手引きの改良を行う。(3学期)定期テスト前を重点的な取り組み期間として、家庭学習の計画を立てさせ、各担任が点検し家庭への協力して、学習習慣の定着を図っている。授業ノートの好事例や授業での学習成果を廊下等に掲示し、見本を示すことで、学習意欲の向上や家庭学習につなげている。</p> <p>家庭生活実態調査を2回行った。学習時間についての調査で、推奨時間(1年80分以上、2年100分以上、3年120分以上)を超えている割合が、1回目平均40.7%から2回目平均61.9%に上がった。</p> <p>家庭学習が1時間以上の生徒の割合を70%以上にする。(3学期)家で授業の復習を毎日する生徒の割合を50%以上にする。(来年度)</p>
	<p>メディアと上手に接する態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅後の時間の過ごし方について、生徒に指導したり保護者に啓発したりする。 ・小中連携の中で「ノーメディア・デー」の取り組みを進める。 	C	<p>校内研で「スマホとの上手なつきあい方」と題して、各クラスで、スマートフォンの使用に関するルールを、生徒自身に考えさせる授業を行う。中道中ブロックの中で、中学校の定期テストに合わせて「ノーメディア・デー」を設定している小学校がある。その取り組みを全教員に周知し、指導に生かすことができた。</p>
	<p>本に親しむ習慣の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の推進，図書館利用の推進 	B	<p>朝読書では、担任や副担任と一緒に参加することで、読書ができていない生徒への声かけや読書の様子の把握を行った。</p> <p>2学期末時点での、本の貸し出し状況をクラスごとにまとめ、各教員に配布し図書館利用を進める資料とした。(のべ利用人数2学期末1,727人)読書プリントを作成し、朝読書で本がなかったり、興味がなかったりする生徒に配布し、読書を促すことができた。</p> <p>読書アンケートをとり、現状把握を行った結果、朝読書をしている生徒の割合が82.5%であった。(校内研修も実施)</p>
	<p>自己肯定感を高める取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中や業間も生徒の中に入り、きめ細かい観察・支援を通して、自分の良さに気づかせ、自己肯定感を高める。 ・行事の中で様々な体験を通して、成就感や達成感を感じさせ、自己肯定感を高める。 	B	<p>授業や行事などを通して、良い点やできるようになったことは認めて、生徒に直接伝えるようにしている。</p> <p>業間も生徒たちの側にいて、会話などを通して、生徒理解を深めている。生活ノートを活用し、生徒理解を深めている。</p> <p>2学期の体育会や文化発表会では、生徒が達成感を味わうことができるような新たな工夫を取り入れ、実施できた。そのため、生徒の感想では、成就感や達成感を感じた生徒が増えた。</p> <p>「自分によいところがある」と回答する生徒の割合を50%以上。(来年度)</p>

進捗状況・・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」